

2020年2月26日

## 大塚製薬工場、北海道釧路市と「いきいきと健やかに安心して暮らせる まちづくりに関する包括連携協定」を締結

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)は、釧路市と「いきいきと健やかに安心して暮らせるまちづくりに関する包括連携協定(以下、『本協定』)」を、2月25日に締結しましたのでお知らせいたします。



写真左から: 蝦名 大也 釧路市長  
藤原 克之 (株)大塚製薬工場 取締役 総務・コンプライアンス・知財法務担当

本協定は、大塚製薬工場と釧路市が相互に協力して高齢者等の介護のための栄養・排泄ケア、食支援、熱中症やかくれ脱水の啓発などを行うことにより、釧路市民の健康づくりおよび医療・介護連携を中心とした地域包括ケアシステムの構築の推進を主な目的としており、具体的な連携事項は以下の通りです。

- (1) 健康増進、高齢者等の介護のための栄養・排泄ケア、食支援(フレイル<sup>※1</sup>・低栄養・摂食嚥下・口腔ケア等)に関する事
- (2) 熱中症、かくれ脱水<sup>※2</sup>の啓発に関する事
- (3) 防災・災害対策に関する事
- (4) 医療・介護連携体制の充実に対する支援に関する事
- (5) 市民協働推進による互助が生きるコミュニティづくりに関する事
- (6) その他、協議により決定した事項に関する事

大塚製薬工場は、輸液のリーディングカンパニーとして、予防から病院医療、リハビリ、そして在宅医療・介護にわたる臨床栄養製品を中心とした製品ラインアップと、きめ細やかな情報伝達を通じて、医療に貢献してきました。超高齢社会において大塚製薬工場の取り組むべき方向性として、その専門性を生かし、地域包括ケアシステムの構築と運用に寄与すべく、自治体と連携を進めています。本趣旨による自治体との連携協定締結は、令和元年5月に鳴門市と締結した「健康で安心して暮らせるための地域づくりに関する包括連携協定」に続き、2例目となります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 フレイルとは、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指し、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の間を意味します。

※2 脱水症の一手手前で症状が出ていない脱水状態を指します。

## 会社概要

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)  
資 本 金 : 8,000万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)  
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,247名 (2019年12月31日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売  
および輸出入  
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>